

● 顕現後第五主日

泉のほとり

今月の詩編「第九十二編」

いかに楽しいことでしょう

主に感謝をささげることが

いと高き神よ、御名をほめ歌い

朝ごとに、あなたの慈しみを

夜ごとに、あなたのまことを

述べ伝えることは



人を恐れず、神を恐れる

ピラトは主イエスを捕え、鞭打ちました。兵士たちは茨の冠を編んで頭に載せ、紫の服をまとわせ、「ユダヤ人の王、万歳」と嘲笑いながら平手で打ちました。侮辱し、嘲り、物笑いにしたのです。ピラトが出ていき、ユダヤ人たちに「見よ、この男だ」と言うと、祭司長や下役たちは「十字架につける。十字架につける」と叫びました。ユダヤ人たちは「律法によれば、この男は死に値する。彼は自らを神の子と称したからだ」とも主張したのです。

ピラトは「神の子」という言葉に恐れを抱き、再び官邸に戻り、「あなたはどこから来たのか」と尋ねました。沈黙しておられる主に「私に答えないのか。あなたを釈放する権限も十字架につける権限もこの私にあるの知らないのか」と問いました。すると主は「神から与えられていなければ、あなたには何の権限もないはずだ。だから、私をあなたに引き渡した者の罪はもつと重い」とお答えになったのです。

ピラトはイエスを釈放しようと思いましたが、ユダヤ人たちはなおも叫びました。「もしこの男を釈放するならば、あなたはおもてなされません。『王』と自称する者は皆、カエサルに背いているのだ」と。ユダヤ人たちはピラトがイエスを釈放すれば、彼自身が反逆者と見なされることを示唆し、彼を追い詰めたのです。

ピラトがイエスを外に連れ出し、「見よ、あなたたちの王だ」と言うと、ユダヤ人たちはさらに激しく反発し、「殺せ、殺せ。十字架につける」と叫びました。ピラトが「あなたたちの王を私が十字架につけるのか」と問うと、祭司長たちは「私たちにはカエサルのほかに王はいない」と答えたのです。彼らはローマ皇帝こそ「神の子」と認め、一方で、自分たちが神の国の民であることを否定していたのです。

ピラトに与えられた権威と権限は、公正な裁きを行うために神から授けられたものでした。しかし、彼は群衆の声と自身の立場を守るため、正しい判断を曲げてしまったのです。自分のために、主イエスを十字架につける決断を下したのです。しかし、そのピラトよりも、民を扇動し、ピラトの判断

を曲げるように仕向けた民の指導者たちの罪はもつと重いのです。

ピラトは最後まで釈放を試みましたが、結局は自らの権威と地位を守るため、イエスを十字架につけたのです。この世では権力や地位が目的とされるのが少なくありません。私たちが見て生きているのは権威や立場、地位ではありません。どのような状況に置かれても、神を恐れ、事を曲げず真つ直ぐに判断し、生きるものです。

主イエスは、不当な裁判にかけられ、偽証人の嘘の証言のすべてをお聞きになりました。異邦人の手に渡され、鞭打たれ、たたかれ、侮辱され、嘲られました。ご自分の民であるユダヤ人たちからも拒まれ、「この者は神の子だと自称した」と、「十字架につける」と叫ばれました。ピラトは彼らの叫びに屈し、主を十字架につけるために引き渡したのです。人々は、十字架につけられた主を見ても、なお嘲ることをやめませんでした。

なぜ主はご自身を救うことなく、罪人たちの手に渡り、死に至るまで忍耐されたのでしょうか。なぜ神は、御子を十字架へと向かわせたのでしょうか。そうでなければ、人が生きられないからです。

神の子であられる方が、天の御座から降り、人々から辱めを受けたことを思い起こしたいのです。主が私のために耐え抜かれた苦しみを思えば、自分のプライドが傷つけられること、見下されること、侮辱されることなど、取るに足らないことではないでしょうか。そして、もしそれが主に倣い、人のために労し、受ける傷であるならば、私たちにとつてそれは誉れであり、誇りです。

この世には、人の声に流され正しい判断が曲げられることがあまりにも多いです。しかし、私たちは神を恐れ、どんな時もまっすぐでありたい。常に正しい判断を求める信仰に生きていきたい。そして、私のためにすべての苦難を耐え抜かれた主イエスの声に従い、私たち自身も人のために苦しみや忍耐を喜びとして歩む信仰に生きていきたいと心から願います。

2024年度

教会全体課題

聖書の御言葉に生きる。

わたしたちのヴィジョン

主イエスの愛の中で、

愛と交わりを通して

お互いに成長する教会

《今日のお知らせ》

○ 礼拝後、交わりの会があります。地下ホールにお集まりください。

○ イースターに受洗転入会をご希望の方は、来週二月一六日までに牧師宛願書をご提出下さい。願書は事務所にあります。

○ 黄牧師は一〇日(月)〜一二日(木)まで韓国に一時帰国します。

《ぶどうの会より》

交わりの会終了後、ぶどうの会を第二・三シオンルームで行います。

《教育奉仕委員会より》

今日は主日礼拝後、地下ホールで「わたしの愛唱讃美歌をみんなと一緒に」と題して、交わりの会をもちます。讃美歌をお持ちになって、どうぞお集まりください。約三〇分の短い時間ですが、楽しいひとときを一緒にしましょう。

《ルツの会より》

次週、一六日の礼拝後、公開ルツの会を行います。出エジプト記一五〜一六章を学びます。場所は地下ホールを予定しています。聖書、讃美歌をお持ちの上、ご参加ください。

《味噌作りの会より》

二月一七日(月)地下のキッチンで味噌作りを行います。ご興味のある方はご参加ください。昼食にはお味噌汁がつきますので、おにぎりなどをお持ちください。ご不明な点がございましたら、日比野靖子姉までお尋ねください。

《交読詩篇》

※会衆は太字の箇所を唱和します。

〔司・会〕の箇所は司式者と会衆が合わせて唱和します。

〔詩篇九十二篇〕

賛歌。歌。安息日に。

いかに楽しいことでしょう

主に感謝をささげることは

いと高き神よ、御名をほめ歌い

朝ごとに、あなたの慈しみを

夜ごとに、あなたのまことを

述べ伝えることは

十弦の琴に合わせ、豎琴に合わせ

琴の調べに合わせて。

主よ、あなたは

御業を喜び祝わせてくださいます。

わたしは御手の業を喜び歌います。

主よ、御業はいかに大きく

御計らいは、いかに深いことでしょう。

〔司・会〕

愚かな者はそれを知ることなく

無知な者はそれを悟らうとしません。

神に逆らう者が野の草のように茂り
悪を行う者が皆

花を咲かせるように見えても

永遠に滅ぼされてしまいます。

主よ、あなたこそ、永遠に高くいます方。

主よ、あなたに敵対する者は必ず

あなたに敵対する者は、必ず滅び

悪を行う者は皆、散らされて行きます。

あなたはわたしの角を野牛のように上げさせ

豊かな油を注ぎかけてくださるほどでしょう

わたしを陥れようとする者をこの目で見

悪人がわたしに逆らって立つのを

この耳で聞いているときにも。

神に従う人はなつめやしのように茂り

レバノンの杉のようにそびえます。

主の家に植えられ

わたしたちの神の庭に茂ります。

白髪になっても、なお実を結び、

命に溢れ、いきいきとし

述べ伝えるでしょう。

〔司・会〕

わたしの岩と頼む主は正しい方

御もとは不正がない、と。

《今日の子ども礼拝》

●子ども礼拝(午前9時20分・地下ホール)

説教 「見捨てず、離れない」

聖書 ルツ記1章15〜19 a節

説教者 宮間彰広兄

《次週の礼拝》

●子ども礼拝(午前9時20分・地下ホール)

説教 「僕は聞いております」

聖書 サムエル記上3章6〜10節

説教者 宮間彰広兄

●主日礼拝(午前10時30分・礼拝堂)

讃美歌 76番 191番

説教 「教会の姿勢を整えて」

聖書 使徒6章1〜7節

説教者 吉村和雄 名誉牧師





主日礼拝 (午前10時30分)

讃美歌 16番 336番
説教 「何を成し遂げて生きようか」
聖書 ヨハネ19章17～30節(新約P.207)
司式 山下 純一 兄
聖餐司式 黄 允湜 牧師
説教者 黄 允湜 牧師

前奏曲「我らを救いたまいしキリスト」J.S.バッハ

○讃美歌16番

1. いとよきよきみかみよ われらをきよめわかち
おおまえにいずるに ふさわしきものとなし
もろともに大御名を たたえさせたまかし
2. うるわしきうたもて ほめたたえまつるとも
かぎりなきめぐみを いかでのべつくすべき
ひたすらに「アバ父」とよびまつるほかにぞなき
3. 召されたるわれらは みくにの世嗣なれば
いとたかきみむねを おのがこころとなして
さかえある大御名を とこしえにほめまつらん

アーメン

○聖歌隊による讃美

「主は呼び給う」 WILL L. THOMPSON 作曲

やさしく主は呼び給う

すべての人に

門に立ちて待ち給う

すべての人を

来たれ 来たれ 疲れた人よ

熱き思い込めて 主は

あなたを待ち給う

われに来よと 主は今

やさしく呼び給う

などで愛の光を 避けてさまよう

帰れや主に 帰れやわが家に

主はあなたを待ち やさしく呼び給う

疲れはてし旅人よ 重荷おろして

来たり憩え わが主の 愛のみもとに

迷う子らの帰るを 主は今待ち給う

罪も咎(とが)もあるままに

来たれ ひれ伏せ

帰れわが家に 疲れた人よ

熱き思い込めて 主は

あなたを待ち給う

アーメン

○讃美歌336番

1. 主イエスよ、十字架を み手より受けて

われは世のほまれ むなしき望み

棄つとも惜しまじただ主によりて

みかみの国をば 得るぞうれしき

ことごとこの世は うばい去るとも

われはかなしまじただ主によりて

みかみの富をば うるぞうれしき

のぞみはまことに いのりほうたに

やがてかわりゆかん ただ主によりて

みかみの愛をば うるぞうれしき

アーメン

聖餐曲「不思議な愛」D.ワット

後奏曲「イエス君はいとうるわし」L.ミス

※礼拝のしおりと讃美歌をお持ちください。